

# Idiomatic Japanese

The Secret of Advanced Japanese

Volume 1

edX Tokyo Tech X

Let's learn Idiomatic Expressions of Japanese

---



---

Hilofumi Yamamoto

*Ph. D. in Linguistics*

日本語らしい日本語: 上級への道 Volume 1



Fardeau agréable (french for “Pleasant Burden”)  
1895 by William-Adolphe Bouguereau (1825–1905)

# はじめに

本書は Tokyo Tech edX MOOCs の教科書「日本語のイディオム表現」である。言語の勉強にはコツがあります。詳細なところにこだわらないことである。よく使われることだけ、勉強することである。どうしても良いと思うことも慣れることも必要である。すべての動詞のすべての活用形が、均一に使われるわけではない。文法的であったとしても、意味によって使われない形も存在する。使われもしないものを勉強する必要はない。どれが使われ、どれが使われないかは、その言語を使っている人たちの中に入って行って体験することが重要である。どうしてそう言うのだろうかと考えよりも、その言い方を自分で使ってみると良いだろう。その言い方がいかにフィットしているかがわかることだろう。

自転車の構造をいくら勉強しても、自転車には乗れない。自転車の構造を知らないで自転車に乗っている人はたくさんいる。自転車を見ているだけでは、自転車に乗れない。とにかく自転車に乗らなければ、乗れるようにはなれない。やってみよう。



山元啓史

東京工業大学教授



# 目次

第 1 章	さあ、はじめよう	1
第 2 章	解説編	13
付録 A	推薦するもの	39
付録 B	英訳	41



## 第 1 章

さあ、はじめよう

なまえ \_\_\_\_\_

1. 傘かさを持って来ない日ひに ( ) 雨あめが降ふるから、天気予報てんきよほうはまるで ( ) 。
2. 今日きょうも寒さむいが、それでもきのうほど ( ) 。
3. 私わたし はやると言いったからには最さい後ごまで ( ) 。
4. 鍵かぎが ( ) いるから、どこかへ出でかけたのでしょうか。
5. どんよりと曇くもった、今いまにも ( ) 天てん気きだ。
6. 何なにが ( ) さっぱりわからない。
7. ( ) 窓まどの外そとを見みると、木きの葉はが赤あかく染そまっていた。
8. 秋あきも深ふかまり朝晩あさばんめっきり ( ) が、その後ごいかがお過すごしでしょうか。
9. 読よむことは ( ) が内容ないようはよくわかりませんでした。
10. 彼かれは知しっていたくせに ( ) をして私わたし に教おしえて ( ) 。



なまえ \_\_\_\_\_

11. どんなに流れが ( <sup>なが</sup> ) 魚 <sup>さかな</sup> は川 <sup>かわ</sup> をのぼって <sup>い</sup> 行く。
12. 彼女は毎日一日も ( <sup>かのじょ</sup> <sup>まいにちいちにち</sup> ) 働 <sup>はたら</sup> いた。
13. 向こうに無事に ( <sup>む</sup> <sup>ぶ</sup> <sup>じ</sup> ) すぐ電話 <sup>でんわ</sup> をください。
14. もう春 <sup>はる</sup> だというのに、まるで冬 <sup>ふゆ</sup> の ( <sup>さむ</sup> ) 寒 <sup>さむ</sup> さです。
15. 少し <sup>すこ</sup> 頭 <sup>あたま</sup> が痛 <sup>いた</sup> いけれど、今日 <sup>きょう</sup> は試験 <sup>しけん</sup> があるから、どうしても学校 <sup>がっこう</sup> へ行 <sup>い</sup> かない ( )。
16. あした田中 <sup>たなか</sup> さん <sup>あ</sup> に会 <sup>あ</sup> ったら、私 <sup>わたし</sup> に電話 <sup>でんわ</sup> する ( )。
17. 今度 <sup>こんど</sup> 失敗 <sup>しっぱい</sup> したら、もう研究 <sup>けんきゅう</sup> を続 <sup>つづ</sup> けることは ( <sup>え</sup> ) を得 <sup>え</sup> ないだろう。
18. いくらたくさん ( )、( <sup>ふと</sup> ) 太 <sup>ふと</sup> るとはかぎりません。
19. 高い <sup>たか</sup> 所 <sup>ところ</sup> に登 <sup>のぼ</sup> れば ( ) ますます山 <sup>やま</sup> の上 <sup>うへ</sup> の空気 <sup>くうき</sup> は少 <sup>すく</sup> なくなります。
20. 私 <sup>わたし</sup> は ( ) といえ <sup>い</sup> ば、肉 <sup>にく</sup> より魚 <sup>さかな</sup> のほう <sup>す</sup> が好 <sup>す</sup> きです。

なまえ \_\_\_\_\_

21. 文法書( <sup>ぶんぽうしょ</sup> ) 文法書はすべて目を通して( <sup>めとお</sup> )ましたが、どこにもそんなことは書いてありませんよ。

22. 研究に研究を( <sup>けんきゅう</sup> <sup>けんきゅう</sup> )、やっと実験の結果( <sup>じっけん</sup> <sup>けっか</sup> )が( <sup>で</sup> )出ました。

23. 植物にとって日光と水分と二酸化炭素は生育に( <sup>しょうぶつ</sup> <sup>にっこう</sup> <sup>すいぶん</sup> <sup>にさんかたんそ</sup> <sup>せいいく</sup> ) ないものである。

24. 子どもの時の癖( <sup>こ</sup> <sup>とき</sup> <sup>くせ</sup> )が( <sup>なお</sup> )に直らない。

25. 同じ買う( <sup>おな</sup> <sup>か</sup> )、安くて良いものが買( <sup>やす</sup> <sup>よ</sup> <sup>か</sup> )いたい。

26. こんな成績( <sup>せいせき</sup> )では( <sup>だいがく</sup> <sup>はい</sup> )いい大学には入( <sup>はい</sup> )れない。

27. 人間の( <sup>にんげん</sup> )だから、間違( <sup>まちが</sup> )うのは当( <sup>あた</sup> )り前( <sup>まえ</sup> )だ。

28. 日本は公園( <sup>にほん</sup> <sup>こうえん</sup> )が少( <sup>すく</sup> )なすぎると言( <sup>い</sup> )われているが、果( <sup>はた</sup> )して( <sup>はた</sup> )か。

29. 今回( <sup>こんかい</sup> )は少( <sup>すく</sup> )なかったが、次回( <sup>じかい</sup> )は( <sup>おお</sup> <sup>ひと</sup> <sup>き</sup> )多( <sup>おほ</sup> )くの人( <sup>ひと</sup> )に來( <sup>き</sup> )てもら( <sup>き</sup> )いたいものだ。

30. 非常( <sup>ひじょう</sup> )に残念( <sup>ざんねん</sup> )なことだが、彼( <sup>かれ</sup> )が犯人( <sup>はんんにん</sup> )と( <sup>は</sup> )をえ( <sup>え</sup> )ない。

なまえ \_\_\_\_\_

31. 休養きゅうようがあつて (                      )、人間の生活にんげん せいかつは (                      )。
32. わざわざ日本にほんへ来て、日本語にほんごを勉強べんきょうしないのは来たき (                      )。
33. どこかへ旅たびに行きたくなるが、別べつにどこというきまった (                      ) はない。
34. 東北線とうほくせんの全列車ぜんれつしゃはスキー客きやくで (                      ) づめだ。
35. 誰だれに笑われようと (                      )。
36. 安心あんしんする (                      ) か心配しんぱいで夜も眠れよる ねむません。
37. この雨あめは一昨日いっさくじつから (                      )。
38. 秋あきの静しずかな夜よるなどには、亡なくなった母ははのことが (                      )。
39. 閉めたはずの扉とびらが (                      )。
40. こんなおもしろい映画えいがはめったに (                      )。

なまえ \_\_\_\_\_

41. 何も強い ( <sup>なに つよ</sup> ) が男 <sup>おとこ</sup> ではない。優しく <sup>やさ</sup> なければ男 <sup>おとこ</sup> ではない。

42. その動物 <sup>どうぶつ</sup> は気温 <sup>きおん</sup> が上昇 <sup>じょうしょう</sup> するに ( <sup>たいおん</sup> ) 体温 <sup>じょうしょう</sup> も上昇 <sup>じょうしょう</sup> するそうです。

43. 初め <sup>はじ</sup> は易 <sup>やさ</sup> しかったが ( <sup>むずか</sup> ) 難 <sup>むずか</sup> しくなってきた。

44. ( <sup>にん</sup> ) 4人 <sup>にん</sup> いるから、マージャンをしましょう。

45. 郵便局 <sup>ゆうびんきょく</sup> へ行く ( <sup>いい</sup> ) にスーパー <sup>かいもの</sup> へ行って買物 <sup>かいもの</sup> をしてきてください。

46. この絵 <sup>え</sup> は見れば ( <sup>あじ</sup> ) いい味 <sup>あじ</sup> がある。

47. 明日 <sup>あす</sup> は定休日 <sup>ていきゅうび</sup> なので ( ) ていただきます。

48. 今 <sup>いま</sup> すぐ連絡 <sup>れんらく</sup> したいのだが、 ( <sup>かれ</sup> ) 彼 <sup>でんわばんごう</sup> の電話番号 <sup>でんわばんごう</sup> がわからない。

49. 彼 <sup>かれ</sup> はいつもおもしろい話 <sup>はなし</sup> をして私 <sup>わたし</sup> たちを ( ) 。

50. 山火事 <sup>やまかじ</sup> でたくさん <sup>き</sup> の木 <sup>き</sup> が ( ) てしまった。

なまえ \_\_\_\_\_

51. 水( <sup>みず</sup> ) あれば、二、三日<sup>にち</sup>ぐらい<sup>い</sup>生き延<sup>の</sup>びることができる。

52. どんなにつらくても最後まで<sup>さいご</sup>努力<sup>どりょく</sup>し( ) なければなりません。

53. 事故<sup>じこ</sup>は( ) ことはなさそうだ。

54. これはほんのお礼<sup>れい</sup>の( ) です。

55. 少し<sup>すこ</sup>高<sup>たか</sup>いと思<sup>おも</sup>いましたが、( ) て、買<sup>か</sup>うことにしました。

56. 手<sup>て</sup>のひらを( ) ように彼の<sup>かれ</sup>態<sup>たい</sup>度<sup>ど</sup>が<sup>か</sup>変わった。

57. 切符<sup>きっぷ</sup>を買<sup>か</sup>う人<sup>ひと</sup>が( ) を<sup>つく</sup>作<sup>ま</sup>って待<sup>まち</sup>っている。

58. き<sup>せんせい</sup>のう<sup>はなし</sup>の先<sup>わたし</sup>生<sup>きょうみ</sup>の 話<sup>はなし</sup>は 私<sup>わたし</sup> の興<sup>きょうみ</sup>味<sup>み</sup>を( ) 。

59. な<sup>おも</sup>くな<sup>おも</sup>ったと思<sup>おも</sup>っていた本<sup>ほん</sup>が 机<sup>つくえ</sup> の下<sup>した</sup>で( ) 。

60. それは( <sup>とお</sup> )通<sup>みせ</sup>り<sup>み</sup>が<sup>み</sup>か<sup>み</sup>った店<sup>ほりだ</sup>で<sup>もの</sup>見<sup>み</sup>つ<sup>み</sup>けた掘<sup>ほりだ</sup>出<sup>もの</sup>し物<sup>もの</sup>だ。

なまえ \_\_\_\_\_

61. ( ) して、電車でんしゃの中にかばんなかを忘わすれてしまった。

62. 悲惨ひさんな交通事故こうつうじこを見て、背筋みが ( ) した。

63. 台湾たいわんでは冬ふゆでも ( ) 水みずで顔かおを洗あらう。

64. 子どもたちはもう独立どくりつして、その夫婦ふうふはのんびり気楽きらくに ( ) いる。

65. あなたにき来て ( ) と大変たいへんありがたいです。

66. ナイフで手てを切きって血ち ( ) です。

67. ( ) たてのパンはとてもおいしいです。

68. 雨あめが降ふるからといって、会社かいしゃを休やすむ ( ) 。

69. 12月がつになると、クリスマスに ( ) 音楽おんがくが街まちに流ながれる。

70. 飲のんではいけないとは知しりながら楽たのしくなって、 ( ) 飲のんでしまう。

なまえ \_\_\_\_\_

71. 夕焼ゆうやけがきれいなので、あしたは雨あめが (                      ) ない。
72. 「背せ中なかのどこがゆいですか。ここですか」「ええ、ええ、(                      ) です。ああ気持きちいい」
73. 言葉ことばと文化ぶんかは切きっても (                      ) 関係かんけいがある。
74. 一人一人ひとりひとりの意見いけんを聞いていたのでは (                      ) から、投票とうひょうにしましょう。
75. 「結けつ局きよく、力ちからのある者ものが勝かつのですね。」「ええ、人生じんせいとは (                      ) もんですよ。」
76. 私わたしは飲のみたくなかったのに、(                      ) にお酒さけを (                      ) た。
77. あいつは俺おれの気きに (                      ) ことばかり言うやつだ。
78. エジプトというと、我々はすぐピラミッドを (                      ) 。
79. 日本民族にほんみんぞくが、このようにして、南方なんぽうから渡来とらいしたという説せつも、十分じゅうぶんに (                      ) 。
80. 友達ともだちの家いえへ電話でんわしたら、全然ぜんぜん知らない人ひとが電話でんわに (                      ) 。

なまえ \_\_\_\_\_

81. この問題は簡単なのに、誰( <sup>だれ</sup> )として答えられなかった。
82. 何だろうと考える( <sup>なん かんが</sup> )もなく、すぐに子供の風船が割れたのだとわかった。
83. あの人は35歳の働き( <sup>ひと さい はたら</sup> )で、亡くなってしまう、大変残念です。
84. 鈴木さんは45歳という( <sup>すずき</sup> )で( <sup>よ わか</sup> )世に別れを( <sup>えいえん</sup> )、永遠の( <sup>さい</sup> )についた。
85. 余裕があれば、旅行に( <sup>よゆう</sup> )行きたいが、現実( <sup>げんじつ</sup> )はそんなに( <sup>りょこう</sup> )ない。
86. 大学4年間パチンコとマージャンに( <sup>だいがく ねんかん</sup> )をぬかし、( <sup>べんきょう</sup> )に勉強しなかった。
87. あの人は、そんなことはもう経験( <sup>ひと けいけん</sup> )なので、同じ過( <sup>おな あやま</sup> )ちは、2度と( <sup>ど</sup> )。
88. 今回の事件で両親( <sup>こんかい じけん りょうしん</sup> )をずいぶん( <sup>ずいぶん</sup> )てしまった。
89. 彼( <sup>かれ</sup> )だったら、常識( <sup>じょうしき</sup> )がないので、それぐらいのことは( <sup>じょうしき</sup> )。
90. 蓮の花からは何とも( <sup>はす はな なん</sup> )ほど、いい匂( <sup>におい</sup> )いが漂( <sup>ただよ</sup> )っているのです。



なまえ \_\_\_\_\_

91. 9 時のニュースを見ようと思っていたのに、本に ( ) になって、 ( ) てしまった。
92. それまで毎日遊んでいたのに、急に人が ( ) ように真面目に勉強しはじめた。
93. 父はアルコール中毒なので、お酒なしでは一時も ( ) ない。
94. 現代では家族全員そろって食事をする風景など、まず ( ) ない。
95. 統計によると、全員そろって食事をする家庭はわずかに 8 % に ( ) 。
96. 日曜日なのに、雨も降っているし、お金もないし、家で寝るより ( ) 。
97. 彼はまさか外国人では ( ) 。
98. ( ) 声楽科の学生だけあって、普段の声もいいですね。
99. あなたが悪いのだから、あなたが謝る ( ) と思う。
100. 1000 円は ( ) 、10 円玉 ( ) もないのだから、いくら ( ) と言われ  
ても返せない。



## 第 2 章

# 解説編

例文、解説、小練習、関連事項を掲載した解説編である。練習編と同様、10 の表現が 1 回分として使えるようになっている。

1. 傘を持って来ない日に  A  雨が降るから、天気予報はまるで  B 。

☐ A 限って; B 当てにならない

◆「～に限って」〈その時はいつもちょうど悪く...「限る」とは一般的には「ある状況のときだけ」と条件を限定する。この場合、実際は、「傘を持っていない時にだけ雨が降る」わけではないのであるが、2～3度でもそのようなことがあると、まるで傘を持っていないときばかり雨が降るような悪いことがおこる気持ちがするもので、そのような気持ちを表す主観的な表現。

- 予習していないときに限って、先生に当てられる。
- 忙しいときに限って、友達から電話がかかる。
- 勉強していないところに限って、試験にでる。
- 部屋が散らかっているときに限って、来客がある。

「だけ」と比較

- 予習していないときだけ、先生に当てられる。(客観的事実)
- 忙しいときだけ、友達から電話がかかる。(客観的事実)

☐ B 当てにならない 〈信用できない当たらない〉〈的中しない〉

◆「まるで」に二つの意味がある。この場合は「まったく～ない」の意味。

- まるで当てにならない (全然～ない)
- まるで当たらない
- (よく似ている場合は) まるで人形のようにかわいい。

▽他の答えの可能性チェック

○ よく: 「しばしば」(運が悪いというくやしきはない。)

? 必ず: 100%の確率で (傘のない日はいつも)



がはいると意味が異なってくる。

▽ 他の答えの可能性チェック... やるべきだ/やるつもりだ/?やってみたい

※「～る(ます)」「～ない(ません)」「(意志動詞 非過去)の主語が「私」の場合は強い意志表現となる。～べきだ、～つもりだの方がより間接的な表現。

4. 鍵が\_\_\_\_\_いるから、どこかへ出かけたのでしょうか。

☐ 掛かって

◆ 自動詞と他動詞の使い方に注意

- 鍵がかかっている.... 鍵がかかる
- 鍵をかけてある .... 鍵をかける

5. どんよりと曇った、今にも\_\_\_\_\_天気だ。

☐ 降りそうな

◆ 「どんよりと」空が重苦しく曇っているようす。また元気がなくてぼんやりした様子もいう。(目つきがどんよりとしている)「今にも～そう」

- 今にも落ちそうな荷物
- 今にも倒れそうな老木

※ 名詞修飾のとき「～そうな」となることに注意。「今でも」... 以前もそうだったが、今もなおという意味。

- 10年前に別れたのに、今でも彼女が好きで忘れられない。

6. 何が\_\_\_\_\_さっぱりわからない。

☐ 何だか/何か/何やら

◆ 「なにがなんだか」それが何であるか、事情が全くわからない様子を言う。「さっぱり」にはいろいろな意味があり、味が油が少なく、甘味や塩味も強くない。/この料理はさっぱりしている。「さっぱりわからない」で〈全然わからない〉の意味。きれいになって気持ちのよい様子/長い髪を切ってさっぱりしたね。

▽ 他の答えの可能性チェック

- おこったのか

「自動詞+か」もこの場合当てはまる。しかし、「なにがなんだか」は「わからない」とセットにしてよく使う慣用句なので、すぐにこういう表現を思いだしたい。

7. \_\_\_\_\_窓の外を見ると、木の葉が赤く染まっていた。

☐ なんとなく/なにげなく/なんとはなしに/ふと

◆ 「窓の外を見た」その状況によって、いろいろな副詞が考えられる。「なんとなく/なにげなく」「なんとはなしに」: 自分がそうする理由はわからない、理由はないけど、という意味。

- あの人のことがなんとなく気になる。

→「ふと」：そうしようと意図したわけではないけど、という意味。

- 明日が田中さんの誕生日だとふと気がついた。

→「たまたま」「偶然」

- 電車の中で田中さんを知っている人に偶然会った。

※ 隣の部屋でなんだか大きな音がしたので、私は心配になった。「辺りがそう  
なっている原因はわからないが、」この場合「なんとなく」はおかしい。

8. 秋も深まり朝晩めっきり\_\_\_\_\_が、その後いかがお過ごしでしょうか。

☐ 冷え込みます／寒くなりました

◆ 「めっきり」の意味は、“あたりの気候や様子、容姿などが前よりずっと変化した”ことを表す言葉。

- めっきり白髪が増えた。

◆ 「冷え込みます」は今も毎日朝晩「冷え込む」ので過去形ではない。「寒くなりました」は完了で、“もう寒くなってしまった。そして今は寒い”という意味。

9. 読むことは\_\_\_\_\_が内容はよくわかりませんでした。

☐ 読みました

◆ 文型「～ことは～が、」の意味は〈一応～する／したが、十分ではない〉。そのため、目的が達せられないという意味。ここでは文章の最後が「ました」なので\_\_\_\_\_の中も「～ました」にする。

※ 同じ意味を表すのに「～には～が」（読むには読みましたが...）がある。

- 目を通すには通したんですが、よくわかりませんでした。
- 会場に行くことは行ったんですが、会えませんでした。

10. 彼は知っていたくせに \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ をして私に教えて \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_。

☐ A 知らないふり、知らぬ振り、知らぬ顔; B くれなかった、くれませんでした。

◆ 「～くせに」は「～のに／～にもかかわらず」の意味。しかし、

1) 私の使った \_\_\_\_\_ くせに、 \_\_\_\_\_ お礼も言わない。

2) \_\_\_\_\_ のに

3) \_\_\_\_\_ にもかかわらず

1) 雨が降っている \_\_\_\_\_ ×くせに、 \_\_\_\_\_ 傘もささずに立っている。

2) \_\_\_\_\_ ○のに

3) \_\_\_\_\_ ○にもかかわらず

※ 「1)... くせに、2)...)」の場合、1)の主語は「私」以外の人。そして。「私」はその主語を非難する気持ちが強い。もし主語を「私」とすると、これは「私」を第3者のように突き放して、非難している感じとなる。

11. どんなに流れが\_\_\_\_\_魚は川をのぼって行く。

☐ 速くても/急でも、

◆「どんなに～ても/いくら～ても」が日常用語なのに対して「いかに～ても/いかに～とも」は硬い文章用語。

- どんなに 国へ帰りたいと思っても帰れない。
- いくら 国へ帰りたいと思っても帰れない。
- いかに 国へ帰りたいと思おうとも帰れない。
- どんなに（様子をどのようににしても）
- いくら（回数頻度／程度を多くしても）

◆ 川の源流に行くことを「のぼる」という。反対は「くだる」これは電車の進行方向とも同じである。

12. 彼女は毎日一日も \_\_\_\_\_ 働いた。

☐ 欠かさず／休まず

◆ 欠く／欠ける

- 勉強した漢字は一字も欠かさず覚えています。
- 彼は頭はいいけど常識に欠ける。
- \_\_\_\_\_ が欠けている。
- \_\_\_\_\_ を欠いている。
- この皿は大好きだったのに、ちょっと欠けてしまった。
- 一言ももらさず聞いた。（「～ず」）

13. 向こうに無事に \_\_\_\_\_ すぐ電話をください。

☐ 着いたら、届いたら

◆ 「～たら」「～と」の使い方の区別、復習すること。向こうに着かないと電話できないから、「～た→～たら」という完了を表す言葉を使う。「～と」の後ろは意志を表す表現はできない。

- × ～と、～ください
- × ～と、～しよう
- × ～と、～ませんか。

14. もう春だというのに、まるで冬の \_\_\_\_\_ 寒さです。

☐ ような

◆ 「まるで～のような〈名詞〉／まるで～のようです。」

- 今日はまるで夏みたいに暑い。（as if ～）
- まるで夢でも見ているみたいで信じられません。（as if ～）
- あの人はまるで子供のように我侭な人です。＊本当はそうではない。

◆ 「まるで～ない」

- お酒を飲み過ぎて、夕べのことはまるで覚えていない。（全然～ない）
- 本人と写真はまるで違う。

◆ 「いかにも～らしい〈名詞〉／～らしいです」

- あの人はいかにも頭のよさそうな顔をしている。
- 今、この仕事をやめるのはいかにも残念だ。
- これ、いかにも高そうに見えるけど、本当は安ものなんです。

\* 本当にそうらしい様子

！ いかにも病院らしい建物 ←→ まるで病院のような建物

15. 少し頭が痛いけれど、今日は試験があるから、どうしても学校へ行かない\_\_\_\_\_。

☐ わけにはいかない

◆ ある理由があって、〈～することができない〉という意味を表す。

- 皆が会費を払っているのだから、私だけ払わないわけにはいかない。私にも払わせてください。
- 今更この工事を中止するわけにはいかない。
- わたしが責任者だから、この会議を欠席するわけにはいかない。
- いくら高くても、授業で使うのだから買わないわけにはいかない。
- 「父が病気なもので、大学をやめました。」「ああ、そういうわけで、やめたんですか。」

\* 「わけ」理由、道理、意味

16. あした田中さんに会ったら、私に電話する\_\_\_\_\_。

☐ ように伝えてください/ように言ってください

◆ ～ように言って/伝えてください \*伝言するとき使う表現

- 田中さんに早く 来るように 言ってください。
- 来いと

◆ ～ようにしてください。...相手に何かを頼むときの表現。また会話では「ように」で終わることもある。

- 後ろにいて、黒板の字がよく見えない人は、前の席が空いているので、前の方に座るようにしてください。

◆ ～ように、～する。

- 試験に合格するように、試験勉強をしています。
- 専門の本を借りるために、図書館に行きました。
- ×ように

17. 今度失敗したら、もう研究を続けることは\_\_\_\_\_を得ないだろう。

☐ あきらめざる／断念せざる

◆ 「～ざるを得ない」～したくないけれども、しかたなく～しなければならない。

- せっかく招待してくれているんだから、忙しいんだけど、行かざるをえない。

18. いくらたくさん  A 、 B  太るとはかぎりません。

☐ A: 食べても／食べたからといって

◆ 時間をかけたからといって、いいものができるとはかぎらない。



- いやだからといって、やらないわけにはいかない。
  - ☐ B: 必ずしも
  - ◆ 必ずしも～ない
    - 必ずしも金持ちが幸せとは限らない。
    - 必ずしも成績のいい人が頭がいいというわけではない。
19. 高い所に登れば\_\_\_\_\_ますます山の上の空気は少なくなります。
- ☐ 登るほど
  - ◆ ~ば、~ほど
    - この人の書いた小説は読めば読むほどおもしろくなる。
  - ※ ますます〈程度が増加して行って、前よりもずっと〉
20. 私は\_\_\_\_\_といえば、肉より魚のほうが好きです。
- ☐ どちらか
  - ◆ 「~どちらかといえば」というと、〈両方~だが〉という意味になる。この場合は「私は肉も魚もどちらも好きですが、強いて言えば、」
21. 文法書\_\_\_\_\_文法書はすべて目を通しましたが、どこにもそんなことは書いてありませんよ。
- ☐ という
  - ◆ 「~という~は、」で、〈全部、全て、残り物もなく〉という意味がある。
    - お祭りで道路という道路は人々でいっぱいだ。
    - その村の男という男は戦争に行ってしまったので、女が働いた。
  - ※ 男は全員（客観的）←→（主観的）男という男
  - ◆ 「目を通す」〈時間をかけないで、大体おおまかに見る／読む〉
    - この書類なんですが、ざっと 目を通しておいください。
    - さっと
  - ※ 目を引く／目をかける／目を着ける、等
22. 研究に研究を\_\_\_\_\_、やっと実験の結果が出ました。
- ☐ 重ね／重ねて
  - ◆ 「~に~を重ねて」〈そのことを、たくさん頑張ってやって〉
    - 努力に努力を重ねて
    - 練習に練習を重ねて
    - 訓練に訓練を重ねて
    - 調査に調査を重ねて
  - ◆ 「やっと」... 期待していたものが実現するときの気持ちを表す。長い時間待った、実現に長い時間がかかった、という気持ちが入っている。「ようやく」
  - ◆ 〈長い時間の末、〉という場合でも、マイナス（－）気分とプラス（＋）気分で、

異なる副詞を使う。(一) 気分では「とうとう」を使うが、「とうとう」は(+)気分でも使える。「やっと」は(+)の気分。

- 長いこと入院していた義父がとうとう／ついに 亡くなりました。
- 長いこと入院していた義父が やっと／ようやく 亡くなりました！?
- 先生、私は とうとう／ついに やりましたよ。博士号を取りました。
- \* 「結局」... いろいろあったが、最終的には... という意味で、結論をどうしたか、結果がどうなったか、述べるときに使う。(＋気分に関係ない)
- 旅行のことなんだけど、結局いつ行くことになったの?
- 結局、みんなの希望が多かった9月の末にしましたよ。
- 日本で働こうと思って、いろいろ努力しましたが、結局、国へ帰ることにしました。

23. 植物にとって日光と水分と二酸化炭素は生育に\_\_\_\_\_ないものである。

☐ なくてはなら／なければなら／欠かせ

◆ 意味は〈どうしても必要だ〉

- 今やコンピュータは人文系の学問にも欠かせないものになった。

24. 子どもの時の癖が\_\_\_\_\_に直らない。

☐ いまだ

◆ 意味は〈今でもまだ〉「まだ」を使うときは「に」が要らない。

- \* 子供のときの癖がまだ直らない。

25. 同じ買う\_\_\_\_\_、安くて良いものが買いたい。

☐ なら

◆ 「同じ～なら」「どうせ～なら」〈何かをする状況になった場合に、さらに、その内容を限定する〉気持ち

- どうせ日本語を勉強しなければならないんなら、一生懸命やろう。
- どうせ行くのなら、自分のだけじゃなくて、私のも買って来て。
- 同じ勉強するなら、もっときちんとやったほうがいい。
- 同じカラオケで歌うなら、歌い放題のところで歌いたい。

26. こんな成績では\_\_\_\_\_いい大学には入れない。

☐ とうてい

◆ 「こんな～では」「このような～では」という場合は(一)の気分。～は良くないものである。従って、「こんな成績では」は「こんな悪い成績では」という意味。

- こんなに忙しいのでは、家族とゆっくりすることもできない。
- こんな給料では、暮らせない。
- こんなに暇なら、夏休みにゆっくり旅行ができる。

\* 文を続けて作ってみよ。

- こんな家なら、\_\_\_\_\_
  - こんな家では、\_\_\_\_\_
  - ◆ 「とうてい～ない」〈努力しても、とても～ない／無理だ〉という意味。
    - 都心の便利な所にはとうてい家は買えない。
27. 人間の\_\_\_\_\_だから、間違うのは当たり前だ。
- ☐ やること
- ◆ 「やること」は何をするという問題ではなくて、この時の意味は〈行為〉という意味。「人間のやること」は決まり文句。
- 子供のやることだから、どんな結果になるかわからない。
  - 私のことだから、また失敗するかな。
  - あの人のことだから、きっと成功するに違いない。
- ◆ 「当たり前だ」〈当然だ 普通だ〉
28. 日本は公園が少なすぎると言われているが、果して\_\_\_\_\_か。
- ☐ 本当だろう
- ◆ 「はたして～か」で〈本当はどうかかわからない〉という気持ちを表す。
- この絵は果して本物だろうか。
  - 田中さんは果して来るだろうか。
  - こんなことで、果して間に合うのだろうか。
- \* 「はたして」 ～かどうか分からない。
- ～だろうか。(分からない／きっとそうではない。)
29. 今回は少なかったが、次回は\_\_\_\_\_多くの人に来てもらいたいものだ。
- ☐ ぜひ／ぜひとも／なるべく／できるだけ
- ◆ 「ぜひ」は〈実現したい／してほしい〉という気持ちを強く表す言葉。「なるべく／できるだけ」は〈可能な限り一番(多く)〉の意味。
- ぜひお遊びにいらっしゃってください。
  - なるべく早く論文を仕上げたいと思っています。
  - ぜひともお目にかかって、ご相談したいことがあります。
  - できるだけお金を使わないで貯めるようにしよう。
- \* ～たい、～よう、～ください、～てほしい などの文末が来るのが多い。
- \* 話し手、「私」、の気持ち
- × 山下さんはぜひ留学しよう。
- 山下さんはぜひ留学してほしい。
30. 非常に残念なことだが、彼が犯人と\_\_\_\_\_をえない。
- ☐ せざる／考えざる
- ◆ 〈考えたくないけれども、しかたがない〉という気持ち。

31. 休養があって   A  、人間の生活は   B  。

☐ A はじめて; B 営まれる

◆ 文型「～ではじめて、... する」は〈～なければ、... できない〉の意味。

- 病気をしてはじめて、病人の気持ちが分かるようになった。
- みんなの協力があってはじめて、地域の生活は快適になります。

◆ これらは「はじめて」がなくても意味は通じるが、「はじめて」によって、強調される。いわゆる「はじめて」とは使い方が違う。

- 昨日はじめて図書館のコンピュータで検索してみました。
- コンピュータがあってはじめて、図書館の本は探し出せる。

\* 「はじめに」との違いにも注意。

- はじめにAのボタンを押して、次にBのボタンを押してください。

☐ B 営まれる「生活を営む」はイディオム（連語）。「営（いとな）む」読み方注意。会社を営む＝会社を経営する

- 休養があって（こそ）、人間の生活は（成り立つ）。

32. わざわざ日本へ来て、日本語を勉強しないのは来た\_\_\_\_\_

☐ 甲斐（かい）がない／意味がない

◆ 「甲斐がない」は〈～した価値がない〉

- せっかく料理を作って待っていたのに、彼は来なかった。作った甲斐がなかった。
- 美術館に行ったが、その日は休館日で、行った甲斐がなかった。
- ◆ 「わざわざ」は〈しなくても済むのに、苦労して〉の意味がある。
- わざわざおでかけくださいまして、申し訳ありません。
- わざわざすみません。
- わざわざ誘いにいったのに、彼は先に出かけてしまっていた。

33. どこかへ旅に行きたくなるが、別にどこというきまった\_\_\_\_\_はない。

☐ あて

◆ 頼みにして（期待して）いいところ／もの／こと、目的

- お正月にお金がたくさんもらえると思っていたが、思っているより少なく、あてが外れてしまった。
- どこへ行くというあてもなく、ぶらぶら歩いた。
- 人の懐（ふところ）をあてにして、お酒を飲むなんて。

34. 東北線の全列車はスキー客で\_\_\_\_\_づめだ。

☐ すし／ぎゅうぎゅう

◆ 「すし詰（づ）め」「ぎゅうぎゅう詰め」は〈もうこれ以上入らないほど中がいっぱいな様子〉。

- 連休の新幹線はすしづめの混雑だった。

- 木村先生の授業は人気があって、いつも教室はすし詰めだ。

\* 「かんづめ」〈ある場所に閉じ込められる様子〉

- 電気系統の故障で、新幹線に5時間も缶詰になった。
- 人気作家はホテルに缶詰で、原稿を書くらしい。

35. 誰に笑われようと\_\_\_\_\_。

☐ かまわない/気にしない/気にならない

◆ 気にする/気にかける/気になる/気を配る/気を遣う

☆ 練習

1. 隣の部屋で音がすると、\_\_\_\_\_て、眠れない。

2. 私はときどきはっきり言いすぎるようですけど、\_\_\_\_\_ないでくださいね。

3. わたしのことをいつも\_\_\_\_\_てくださって、ありがとうございます。

◆ 「～ようと、... ない」は〈～しても、自分には関係なく、... する〉「～ようと、～まいと、...」という文型もある。

- 誰が反対しようと、私たちは結婚します。
- 親が反対しようと、しまいと、私たちは結婚します。
- 誰が行こうと、私には関係ない。
- あなたが行こうと行くまいと、私には関係ない。

\* 行こうかいくまいかと、迷った。

36. 安心する\_\_\_\_\_か心配で夜も眠れません。

☐ どころか

◆ 「Aどころか、B」は〈決してAではなく、むしろBだ〉の意味。Aするのは当然なのに、そのAもしない。そしてAと逆行するBをする。

- あの人、お礼を言うどころか、我々の悪口をいって帰って行きました。
- 試験が近づいているのに、勉強するどころか、\_\_\_\_\_。
- 手紙どころか、\_\_\_\_\_。

37. この雨は一昨日から\_\_\_\_\_。

☐ 降り続けている

◆ 「～つづける」でその動作・状態が継続していることを表す。

- 飲みつづける ● 立ちつづける ● 眠りつづける
- 書きつづける ● 行きつづける ● 使いつづける
- 電話が鳴りつづける
- 日本では、定年まで同じ会社で働き続ける人が多い。

\* 雨がふりつづいている（例外）

38. 秋の静かな夜などには、亡くなった母のことが\_\_\_\_\_。

☐ 偲ばれる／思い出される

◆ 「偲ばれる」「思い出される」の「れる」は自発。自然にそんな気持ちになると

いうこと。「偲ぶ」は〈なつかしく思い出す〉の意味で、亡くなった人のことを懐かしむときによく使う。

- 命日に故人を偲んで、友人が集まった。
- ふるさとに帰ったがすっかり変わってしまっていて、昔を偲ぶものが何も残っていなかった。

39. 閉めたはずの扉が\_\_\_\_\_。

☐ 開いている／開いていた

◆ 読み方 あいている／ひらいている

◆ 自動詞と他動詞 — 日本語の自動詞と他動詞は、いくつか難しい点がある。

1. ダイアルを回したけれども、回らなかった。
2. 電話をかけたけれども、かからなかった。
3. ドアを閉めたけれども、閉まらなかった。

40. こんなおもしろい映画はめったに\_\_\_\_\_。

☐ 見られない／ない

◆ 頻度の副詞「めったに～ない」はその回数が少ないこと。

- 全然～ない ● めったに～ない ● たまに～する ● あまり～ない ● ときどき～する ● よく～する

41. 何も強い\_\_\_\_\_が男ではない。優しくなければ男ではない。

☐ ばかり／だけ

◆ 「ばかり」バランスを欠いて、どちらかに偏ってしまった状態を表す「だけ」  
=just only not more than

- 母親：ごはんばかり食べないで、おかずもたべなさい。  
子ども：はい。
- 節分の豆まきでは歳の数だけ豆を食べる。
- 今日の会議は山下さんだけ欠席だ。
- 子供だけで、一晩過ごして大丈夫かな。
- 何度も同じことばかり言うようになったら、歳を取った証拠だ。

42. その動物は気温が上昇するに\_\_\_\_\_体温も上昇するそうです。

☐ つれて／つれ／従って／従い

◆ 〈A〉が変化すれば、〈B〉もいっしょに同じ程度変化する

- 上昇する のに ともなって／ともない
- 上昇する のに ともなって／ともない
- 上昇する につれて／に従って
- 上昇する につれ／に従い
- 収入の増加に ともなって 支出も増える。

- 収入の増加に ともない 支出も増える。
- 収入が増加する につれて、支出も増える。
- 収入が増加する につれ、 支出も増える。
- 台風に伴う被害が報告された。

43. 初めは易しかったが\_\_\_\_\_難しくなってきた。

☐ だんだん

◆「だんだん」はその程度が少しづつ変わること。「どんどん」はあとからあとから続くようす。

- どんどん雪がふり続いている。
- だんだん暖かくなってきましたね、もうすぐ春です。
- どんどん召し上がってください。
- どんどん留学生の数が増えてきた。
- だんだん留学生の数が増えてきた。

44. \_\_\_\_\_ 4人いるから、マージャンをしましょう。

☐ ちょうど

◆ just

- ケーキがちょうど5つあるんだけど。みんなで食べよう。(5人いる)
- あ、ちょうどいいところへ来たね。

45. 郵便局へ行く\_\_\_\_\_にスーパーへ行って買物をしてきてください。

☐ ついで

◆「郵便局へ行く」のが中心で、その時、スーパーへ寄る。「～がてら」

- 郵便局へ行きがてら、スーパーによって買物をする。
- 中国に行くついでに、韓国にも行く。
- 研究室に行ったついでに、図書館にも行った。

46. この絵は見れば\_\_\_\_\_いい味がある。

☐ 見るほど

◆ 文型「～ば～ほど」

- 食べ物は噛めば噛むほど、体にいいそうです。

◆ 味

- 甘い味がする。(食べ物)
- あの人の言葉は味のある言葉だ。(意味の深い言葉、心を引かれることば)
- 50歳になって、あの役者は味のある芸をするようになった。(深い味わいのある芸、心に訴える印象の深い芸)

47. 明日は定休日なので\_\_\_\_\_ていただきます。

☐ 休ませ

◆「使役形 て いただきます」は自分が相手に許可をもらって何かをするときの言

い方。謙譲表現

- ここで、待たせていただいてもよろしいでしょうか。
- ちょっと、考えさせてください。
- もう少し考えていただきたいんですが。＊
- もっと考えてもらいたいです。
- もっと考えてほしいんです。
- もっと考えてください。

48. 今すぐ連絡したいのだが、\_\_\_\_\_彼の電話番号がわからない。

☐ あいにく

◆ 話し手（話者）の「ちょうど運悪く」という気持ち。

- せっかくのパーティなのに、田中さんはあいにく病気になってしまって、行けなくなった。
- 「あいにく」と思っているのは誰ですか？

49. 彼はいつもおもしろい話をして私たちを\_\_\_\_\_。

☐ 笑わせる

◆ 自動詞「笑う」には対応する他動詞がないので、使役の形の「笑わせる」を他動詞として使っている。

50. 山火事でたくさんの木が\_\_\_\_\_てしまった。

☐ もえて

◆ もえる→←もやす

51. 水\_\_\_\_\_あれば、二、三日ぐらい生き延びることができる。

☐ さえ

◆ 「さえ」最低の例、または最高の例を示して、そこから、全体の状況を示す時に使う。

- 「でも」いくつかの事物の中から、ある一つを例としてあげる。
- 「ばかり」バランスを欠いて、どちらかに偏ってしまった状態を表す
- 「だけ」=just only not more than
- この料理は子どもでさえできます。（→この料理は誰でもできる簡単なものです。）
- 新聞さえ読む時間がない。（→本を読んだり、映画を見たりする暇もない。とても忙しい。）
- この頃はお金さえあれば、何でもできると思っている人が多い。（→努力や才能なども必要かもしれないが、それはなくても、お金があれば、何でもできる。）
- 就職したいと思っている会社に行ったが、人事課の人は会ってさえくれなかつ



た。(→会社の説明をしたり、就職試験をするどころか、全然会ってくれない。)

52. どんなにつらくても最後まで努力し\_\_\_\_\_なければなりません。

☐ つづけ

◆ 文型「どんなに／いくら ~ても」 副詞の「たとえ」をつけてもいい。

- たとえどんなに辛くても、がんばります。
- たとえいくらお金があったとしても、そんな高価なものは買いたくない。
- いくら頼んでも、聞いてはくれなかった。

※「~つづける」→参照 37.

53. 事故は\_\_\_\_\_ことはなさそうだ。

☐ たいした

◆ 「たいした」は〈驚くほどの〉の意味。交通事故を見ていて、その事故が重大事故でないと思ったとき、このように言う。「たいしたことはない」を一まとまりの表現で覚えること。「たいして」副詞〈とりたてて言うほど〉

- A：怪我（けが）はどうですか。  
B：いやあ、たいしたことはありません。
- 雨が降っているけど、たいしたことはない。
- 政局が混迷しているが、日本経済にたいして影響しないだろう。

54. これはほんのお礼の\_\_\_\_\_です。

☐ 印、気持ち、

◆ 「ほんの」はその量が少ないこと。ここでは謙遜の気持ちを表す。「印」は〈形だけですけれども〉というこれも謙遜の気持ち。お世話になった人にプレゼントを持って行って、さしあげるときにいう言葉。

- これはお詫（わ）びのしるしです。〈相手にあやまるときのプレゼント〉
- これは感謝のしるしです。〈感謝のプレゼント〉

55. 少し高いと思いましたが、\_\_\_\_\_て、買うことにしました。

☐ 思い切って

◆ 「思い切って」は〈大決心をして〉の意味。\*「清水（きよみず）の舞台から飛び降りる思いで」というのは〈非常な大決心をして〉という意味。→清水の舞台から飛び降りる思いでした。(It was a leap in the dark.)

- 少し怖かったけれども、思い切って、飛び降りた。
- 長い髪に愛着はあったのだが、暑くなったので思い切って短く切った。
- 質問するのは恥ずかしかったが、思い切って聞いてみた。
- このマンションは清水の舞台から飛び降りる思いで、借金して、買ったんです。

56. 手のひらを\_\_\_\_\_ように彼の態度が変わった。

☐ かえす、かえした

◆ 文型「手のひらを返す」は決まり文句。人間の態度が急に変わってしまうこと。

- 私に財産がある間はよく遊びにきていたのに、財産のなくなった今では、手のひらを返したように、知らん顔だ。
- 私の父が〇〇会社の社長だとわかると、手の平をかえすように親切になった。(それまでは、とても冷淡だったのに。)

57. 切符を買う人が\_\_\_\_\_を作って待っている。

☐ 列、行列

◆「列を作る」「行列を作る」順番を待って、大勢の人が並ぶこと。この他、列の途中から、人が入ってきて、他の人に迷惑をかけることを「列に割り込む」という。この場合「並んで待っている」と行っても同じ。

- 店の外まで、列を作って人が待っているのだから、ここのラーメンはおいしいのだろう。
- 東京駅の南口は、つくば行きのバスに乗る人が長い列を作って待っている。

58. きこのうの先生の話は私の興味を\_\_\_\_\_。

☐ 引いた

◆「興味をひく」人の話が面白いと思うこと。または、何かが自分にとって面白く思えること。

練習 \_\_\_\_\_に次のようなことばを入れてみよ。

【山下さんの研究／日本新党／遠藤先生の本／日本式経営】

- (a) 私は\_\_\_\_\_に興味がある。
- (b) \_\_\_\_\_は私の興味を引いた。
- (c) 私は\_\_\_\_\_に興味を引かれた。
- (d) \_\_\_\_\_は興味深い。

59. なくなったと思っていた本が机の下で\_\_\_\_\_。

☐ 見つかった

◆ 助詞が「で」の時は「見つかった」で、助詞が「に」のときは「あった」を使う。実際に今「ある」のだが、「発見」の意味のときは過去形にする。

- あ、わかった。
- ああ、よかった。
- あ、あった。(財布を捜していて、見つかったとき)
- あ、見つかった。
- あ、バスが来た。(今、バスが来ているのに気が付いた)

60. それは\_\_\_\_\_通りがかった店で見つけた掘出し物だ。

☐ たまたま、偶然、ちょうど

◆「通りがかる」「通りかかる」とどちらも言う。名詞になると「通りがかり」となる。〈通り過ぎる道の途中〉の意味。

- この靴は銀座に行ったとき、通りがかりの店で見つけたんですよ。

◆「掘出し物」は〈自分が見つけた特別な（安い、珍しい、骨董品）物〉の意味。

61. \_\_\_\_\_して、電車の中にかばんを忘れてしまった。

☐ うっかり

◆「うっかり」は〈～してはいかないことを、すっかり忘れてしまって～してしまう〉ときの気持ち。これに対して、「つい」は〈～してはいけないことは十分知っているのだが、その時の雰囲気や、様子で、～してしまう〉ときの気持ち。

- 電車の中に、うっかりかばんを忘れてしまった。
- うっかりして、今日3時から会議があることを忘れていた。
- うっかりすると、見過ごしてしまうほど小さい看板ですから、注意してくださいね。
- たばこを止めようと思っているのに、人が吸っているのを見ると、つい吸ってしまいます。
- 倏約しなくてはと思っていても、財布にお金が入っていると、つい無駄使いをしてしまう。

62. 悲惨な交通事故を見て、背筋が\_\_\_\_\_した。

☐ ぞっと、

◆「背筋がぞっとする」は決まり文句で、とても怖くなって、体中が冷たくなるように感じること。「背筋が寒くなる」も同じ。「ひやっとする」はもうちょっとで危なかったという恐怖感を言う。

- お化けを見て、背筋がぞっとした。
- ビルの30階から下を見ると、背筋がぞっとする。
- 血の付いた刀を見て、背筋が寒くなった。
- 子どもが車に引かれそうになってひやっとした。

63. 台湾では冬でも\_\_\_\_\_水で顔を洗う。

☐ つめたい

◆ 冷たい / 熱い / 温かい … 個体、液体（体の一部分で感じる）

寒い / 暑い / 暖かい … 気体（体全体で感じる）

- 手が冷たい。
- 水が冷たい。スープが熱い。
- 石の壁が冷たい。暖かい。
- 部屋が暖かい。寒い。暑い。
- プールに入ったら、冷たかった。
- お風呂に入って、温まった。
- 心が温まった。
- お湯で洗わないと、手が冷たいでしょう。

64. 子どもたちはもう独立して、その夫婦はのんびり気楽に\_\_\_\_\_いる。

☐ 暮らして、生活して、過ごして

◆「暮らす」は〈生活する〉という意味。「過ごす」は〈何かをして時間を使う〉という意味 助詞が「で」であることに注意。

- 日本で暮らす。
- 夏休みは山で絵を書いて過ごしました。
- 今、筑波大の宿舎に住んでいます。

◆「のんびり」は〈ゆっくり気楽に〉の意味

- 足元の危ないところでは、ゆっくり注意して歩いて下さい。のんびり歩いていては、危ないですよ。
- あの人はのんびりした性格だから、いつも遅刻しますね。
- どうぞ、ごゆっくり召し上がってください。

65. あなたに来て\_\_\_\_\_と大変ありがたいです。

☐ いただける

◆「いただく」「もらう」をその本人に直接お願いしている時は、可能形を使う。

- ちょっと、待っていただけますか。
- これ、持ってもらえないかなあ。
- 黒板に書いていただけるとよく分かるんですが。←書いてください

66. ナイフで手を切って血\_\_\_\_\_です。

☐ だらけ、まみれ

◆ 手に血がたくさん付いている様子。「～まみれ」は〈体中に何かが付いている様子〉を言う。

- 庭で仕事をしていて、服も顔も泥だらけ（まみれ）だ。
- 書類を作るのが大変で、部屋中、紙屑だらけだ。
- 汗まみれになって、働いた。
- ちょっと庭の手入れをしなかったら、庭中、くさだらけだ。

67. \_\_\_\_\_たてのパンはとてもおいしいです。

☐ 焼き

◆「～たて」で〈～たばかり〉の意味。

- 生まれたての赤ちゃんは目が見えないそうだ。
- できたての料理はおいしい。
- サラリーマンになりたてのころは、いつも緊張していて、とても疲れたものだ。
- やはり、ごはんはたきたてが一番だ。

68. 雨が降るからといって、会社を休む\_\_\_\_\_。

☐ わけにはいかない、のはよくない、ことはできない、なんて（～）

◆「雨が降るからといって、... 否定」は〈「雨が降るから」という理由で、「会社

を休む」ということはできない」という意味。相手が言ったり、考えたりしたことに対しても、自分が考えたことに対しても言う。

- 田中さんが家に来るからといって、\_\_\_\_\_。
- 小林先生が怒るからといって、\_\_\_\_\_。
- 部屋が暑いからといって、\_\_\_\_\_。

69. 12月になると、クリスマスに\_\_\_\_\_音楽が街に流れる。

☐ ちなんだ ちなむ (因む)

◆ 「ちなんだN」「ちなんで、V」という文型で、〈関係のあるN〉〈関係して、V〉という意味を表す。

- [クリスマスにちなんだ音楽] が街に流れる
- [クリスマスにちなんで]、ジングルベルが街に流れる
- 6月に生まれたので、生まれた月にちなんで、潤(じゅん)という名前をつけた。
- 彼の出身地にちなんだ音楽を演奏します。

70. 飲んではいけないとは知りながら楽しくなって、\_\_\_\_\_飲んでしまう。

☐ つい

◆ 「～ながら」は2つの意味がある。

- テレビを見ながらごはんを食べる。(2つの動作が同時進行)
- 子供ながら、いろいろなことをよく知っている。(～なのに、)

※ 「つい」「うっかり」については..61.

71. 夕焼けがきれいなので、あしたは雨が\_\_\_\_\_ない。

☐ 降りそうも、降りそうに、降りそうにも

◆ 様態の「そう」の否定形。「降りそう(に／も)ない」という場合、意味の中に〈自分の期待とは反対に〉という意味も含まれている。

- あんなにのんびり勉強しては大学に合格しそうもない。

動詞           ○～そうもない、～そうにない、～そうにもない(どれでもよい)  
                  ?～なさそうだ(あまり言わない)

イ形容詞   ○～くなさそうだ  
                  ○～そうではない

ナ形容詞   ○～じゃなさそうだ  
                  ○～そうではない

\*名詞のときは「～ではなさそうだ」以外は「～そうだ」に直接続かない。

- 今晚中に終わりそうにもないですね。
- 難しそうで、とても読めそうもありません。
- 自民党は今度の選挙で過半数を取れそうにない。

- この店は、おいしくなさそうだ。
- この店は、そんなにおいしそうじゃない。
- ここはそれほど不便じゃなさそうだ。
- あの人は田中さんじゃなさそうだ。

72. 「背中のがどこがかゆいですか。ここですか。」「ええ、ええ、\_\_\_\_\_です。ああ気持ちいい。」

☐ そこ

◆ 自分の体であるが、相手の方に近いと考えているときは、「そこ」を使う。

- 医者「ここ、痛いですか」（お腹の一部分を押して）
- 患者「いや、そこはあまり、痛くないです。（手で示して）こっちの方が。」

73. 言葉と文化は切っても\_\_\_\_\_関係がある。

☐ 切れない

◆ 「切っても切れない関係」は〈とても強い、深い関係〉

- 親子の縁は切っても切れない関係である。
- 政治家とお金は切っても切れない関係のようだ。
- 受験生と勉強は切っても切れない。

74. 一人一人の意見を聞いていたのでは\_\_\_\_\_から、投票にしましょう。

☐ 切りがない、埒（らち）があかない、

◆ 「切り」は〈終わり〉と考えて、「切りがない」は〈終わりがない、結論が出ない〉という意味になる。たくさんやることがあるために終わらない。「らちがあかない」は、〈決まりがつかない、どうにもならない〉という意味。

- 公式を知らずに、この問題を解こうとしたって、らちがあかない。
- こんなに大勢の中から、彼を捜してもらちがあかない。
- こんなに大勢の人を、数えるなんて、切りがないから止めましょう。
- いつまでも迷っていても切りがないから、思い切って受験してみたらどうですか。

75. 「結局、力のある者が勝つのですね。」

「ええ、人生とは\_\_\_\_\_もんですよ。」

☐ そんな、そういう

◆ 「こ／そ／あんなものだ」「こう／そう／ああいうものだ」には、あきらめの気持ちが、入っている場合がある。

- 選挙しても、結果はあんなもんですね。
- 子供：「勉強したのに、あまり成績は上がらなかったよ。」  
親：「成績なんてそんなもんよ。すぐには上がらないよ。」

76. 私は飲みたくないと言ったのに、\_\_\_\_\_にお酒を\_\_\_\_\_た。

☐ 無理、無理やり / 飲まされ、飲ませられ、強いられ

- ◆「無理に」は〈できないのに、いやだと言うのに強制されて〉という意味。使役受身「～させられる」は、〈自分がしたくないけれども、誰かに言われて～する〉ときの表現。

飲む→飲ませる→飲ませられる強いる→強いられる

- 子供たちは家に帰に帰ると、親に勉強させられる。
- 私は母にレバーをよく食べさせられた。
- カラオケで歌いたくない人に、無理に歌わせるのはよくない。
- この仕事は無理やり引き受けさせられたものです。

77. あいつは俺の気に\_\_\_\_\_ことばかり言うやつだ。

☐ さわる、くわない、いらぬ、なる

◆「気」に係のある慣用表現は多い。

- 「気に障（さわ）る」は〈気分を害する〉の意
- 「気に食（くわ）ない」は〈気に入らなくて不愉快だ〉の意味
- 「気に入（い）らない」は〈私の好みではない〉
- 「どうして、怒っているんですか。何か気に障ることを、私が言ったんだったら、謝ります。」
- あいつは気に食わないやつだ。（＝私はあの人を嫌いだ）
- このネックレスはとても気に入っているのよ。
- 父はちょっとでも気に入らないことがあると、すぐ不機嫌になる。

78. エジプトというと、我々はすぐピラミッドを\_\_\_\_\_。

☐ 思い浮かべる

◆「思い浮かべる」は〈連想する〉に意味が近い。「思い出す」は、以前自分が体験したことから思ったという意味。

- 自民党というとどんなことが思い浮かびますか。
- 赤い色というと、海に沈む夕日を思い浮かべます。

79. 日本民族が、このようにして、南方から渡来したという説も、十分に\_\_\_\_\_。

☐ ありうる、考えられる、成立する、理解できる

◆「ありうる」は〈可能性がある〉。

- 今国会の会期での予算の成立はありえない。（否定形）
- 犯人は窓から逃げたということもありうる。

80. 友達の家へ電話したら、全然知らない人が電話に\_\_\_\_\_。

☐ 出た、出てきた

◆「電話に出る」で、電話をとって相手と話をすること。

- （リーンリーン）「すみません、ちょっと電話に出てください。今、手が離せないのです。」
- 今、電話に出た方は、どなただったの？

81. この問題は簡単なのに、誰\_\_\_\_\_として答えられなかった。

☐ 一人

◆「誰一人として」は〈誰も..... ない〉の強調。「何一つとして」は〈何も..... ない〉

- 地震で何もかも壊れてしまって、私の思い出のアルバムなど、写真は何一つとして残っていない。
- このりんごは傷がついていて、どれ一つとして、きれいなものはない。
- 誰一人として、先生に文句を言う学生がいない。

82. 何だろうと考える\_\_\_\_\_もなく、すぐに子供の風船が割れたのだとわかった。

☐ まで

◆「～までもなく、...」で、〈～ということをしなくても、... だ〉の意味。

◆ ～まで

- お金をかけて、ドレスまで買ったのに、パーティーは中止になった。
- あの野球選手は、離婚して寂しかったために、生活が乱れ、麻薬まで使って、とうとう警察に捕（つか）まった。

◆ ～までもない

- こんな簡単な計算は計算機を使うまでもない。
- トムさんはもう日本に長いので、様子がよくわかっていますから、ついて行ってあげるまでもありません。
- こんな簡単な文法は、先生に教えてもらうまでもなく分かる。

83. あの人は35歳の働き\_\_\_\_\_で、亡くなってしまい、大変残念です。

☐ 盛（ざか）り

◆「～ざかり」は「～するのが一番いいとき」という意味で、「花盛り」は花を見るのに一番いい時期。これは、働く（動詞）＋盛り（名詞）の形なので、複合動詞とはいえないが、作り方は複合動詞と同じ。

- わが家には、食べ盛りの子供が4人もいるので、食費が大変です。
- 真っ盛り ● 女盛り ● 男盛り ● 育ち盛り

84. 鈴木さんは45歳という\_\_\_\_\_で\_\_\_\_\_世に別れを\_\_\_\_\_、永遠の\_\_\_\_\_についた。

☐ 若さ／この／告げ／眠り

◆ 我々が住んでいる世界を「この世」と言う。死んでからの世界を「あの世」と言う。「別れを告げる」は〈さようならを言う〉の意味。「永遠の眠りにつく」は〈死ぬ〉の意味。

- 友達に別れを告げて、飛行機に乗った。

85. 余裕があれば、旅行に\_\_\_\_\_行きたいが、現実はそんなに\_\_\_\_\_ない。

☐ でも／甘くは、楽では

◆「そんなに」／「それほど」は〈あなたが考えるほど〉〈私が考えているほど〉  
「～でも」は、いくつかの例のうちの一つを挙げる。



- お茶でも飲みたい。
- 友達にでも相談したら？

86. 大学4年間パチンコとマージャンに  A  をぬかし、 B  に勉強しなかった。

☐ A うつつ; B ろく

◆「うつつ（現つ）をぬかす」は、やるべきことをしないで、つまらないことに熱中することを言う。うつつ（現つ） $\longleftrightarrow$ 夢

- 犯人は酒と女にうつつをぬかし、莫大な借金を作っていた。
- 友達との付き合いにうつつをぬかし、論文の準備がさっぱりできていない。
- 仕事をしているのかと思ったら、コンピュータゲームにうつつをぬかしている。
- 「ろく（碌）に..ない」は〈ほとんど、真面目に..ない〉。
- 仕事もろくにしないで、家でごろごろしている。
- 日本語の先生は忙しくて、昼ご飯もろくに食べられない。
- 最近の大学生は、ろくに本も読んでいない。
- 日本語をろくに勉強していないのに、日本に留学してもうまくいかない。
- そんなことをする人はろくな人間じゃないよ。
- ろくでもないやつ・ろくでなし（しょうもない人のこと）

87. あの人は、そんなことはもう経験  A  なので、同じ過ちは、2度と  B  。

☐ A ずみ; B 犯すまい、犯さないだろう

◆「すみ」は漢字で「済み」と書く。「すみ」の前に、何か言葉がくると、発音は「～ずみ」となる。この他に「使用済み」「支払い済み」などがある。

- 使用済みのアルミ缶を集めてリサイクルする。
- 使用済みの乾電池はどこに捨てたらいいんですか。
- 使用済み核燃料の再処理工場が建設中だ。
- ◆「過ちを犯す」は慣用句。規則や、道徳にそむいたことをするという意味。
- 戦争という過ちを2度と犯すべきではない。

88. 今回の事件で両親をずいぶん \_\_\_\_\_ てしまった。

☐ 心配させ

◆「使役+てしまう」は主語にあたる人が原因で、その相手が何か悪い状態になることを言う。

上の例文で心配した人      その原因      両親に→心配かけてしまった  
両親を                                  事件

- 太郎はよしこを泣かせてしまった。
- 変な質問をして、先生を困らせてしまった。
- 今回の事件でずいぶん両親に心配させられた。

上の例文で心配した人	その原因
→	→

89. 彼だったら、常識がないので、それぐらいのことは\_\_\_\_\_。

☐ やりかねない / やるかもしれない / するだろう

◆「～かねない」で〈～する危険性がある〉という意味。「それぐらいのこと」はあまりよくないこと、または、つまらないことを表す。

●あの人はカンニングしかねないから、気をつけて。

90. はす(蓮)の花からは何とも\_\_\_\_\_ほど、いいにおい(匂い)が漂っているのでした。

☐ 言えない

◆「何とも言えないほど、～」は〈言葉で表現できないほど、(すばらしい)〉という意味。

◆「何とも言えない」は〈よいか、悪いか、よくわからない〉という意味。

●何とも言えないいい匂いが漂っているのですでした。(上の例文と少し違う!)

●雅子様は何とも言えないほど、気品のある方ですね。

91. 9時のニュースを見ようと思っていたのに、本に   A   になって、  B   てしまった。

☐ A 夢中; B 見過ごし、忘れ

◆「～に夢中になる」は「夢の中に入って」という意味ではない。〈～することだけに全部の気持ちが向かってしまう〉という意味。「夢中で～する」「～したときは夢中だった」のような使い方がある。

●仕事に夢中になって、つい家へ帰るのが遅くなってしまった。

●おもしろい論文のテーマが見つかって、夢中で調べ始めた。

●大人も子供もコンピュータゲームに夢中になっている。

◆「見過ごす」には次の2つの意味がある。上の例は見ていながら、そのまま見ないふりをしておく、見逃す、見損なう ← 見るときが過ぎる

●いくら自分が忙しいからといって、友達が困っているのを見過ごすわけにはいかない。

●掲示板には大事なことが書いてあるので、見過ごさないように注意してください。

92. それまで毎日遊んでいたのに、急に人が\_\_\_\_\_ように真面目に勉強しはじめた。

☐ 変わった

◆「56. 手のひらを返すように」は人間関係の中で態度が急に悪くなる場合にだけ使うが、「人が変わったように」は〈別の人間になったように〉と、いい方へ

も、悪い方へも性格が変わった場合、使う。上の例文では、心を入れ換えて、新しい人間になったように、という意味。

- 太郎さんは、このごろ人が変わったように仕事に意欲的だ。
- 高校時代勉強しなかった娘が、浪人したら、人が変わったように猛勉強を始めた。

93. 父はアルコール中毒なので、お酒なしでは一時（いつとき）も\_\_\_\_\_ない。

☐ 過ごせ

◆「過ごす」は〈時間を送る〉〈暮らす〉の意味。

- 楽しい一時（ひととき）を過ごしました。
- みなさまいかがお過ごしですか。（手紙文）
- ドイツではブレーメンの友達の家でしばらく過ごした後、ミュンヘンに行きました。

94. 現代では家族全員そろって食事をする風景など、まず\_\_\_\_\_ない。

☐ 見られ、お目にかかれ

◆「お目にかかる」は〈会う〉の謙譲語で、「お目にかかれない」というのは〈会うことができない〉という意味だが、少し批判的な気持ちで、皮肉に〈見ることができない〉という場合に、このような使い方もある。「まず〜ない」はこの場合、〈めったにない〉という意味。

- 近頃、電車の中でお年寄りに席を譲る人など、めったにおめにかかれない。

95. 統計によると、全員そろって食事をする家庭はわずかに8%に\_\_\_\_\_。

☐ 過ぎない

◆「わずか（に）〜に過ぎない」で、その量が思ったより少ないことを言う。

- 最初30人いたのに、最後までクラスに残ったのはわずか5人にすぎない。
- あの人は日本語が上手ですが、クラスで勉強したのはわずか2週間にすぎないんですよ。

96. 日曜日なのに、雨も降っているし、お金もないし、家で寝るより\_\_\_\_\_。

☐ ほかない

◆「ほかない」は〈他に方法がなく、することができるのは〜だけだ〉の意味。

- 冷凍庫が故障してどんどん中のものが解け始めた。これは、どんどん料理して、食べるよりほかない。
- しまった日曜日なのにお金をおろしわすれた。これは、家でじっとしているほかない。

97. 彼はまさか外国人では\_\_\_\_\_。

☐ あるまい

◆「まさか〜ではあるまい／〜するまい」で、〈私は〜だとは思わないし、事実〜ではないだろう、しかし、ちょっとその自分の判断が不安だ〉という意味。

- 毎晩帰りが遅いけど、まさか不倫しているんじゃないでしょうね。
- いくら失恋したといっても、まさか自殺まではするまい。

98. \_\_\_\_\_声楽科の学生だけあって、普段の声もいいですね。

☐ さすが

◆「さすが～だけあって、…」は〈～であるから、やはり、…〉で、…の部分は positive（＋イメージ）な事柄がくる。「さすが」と一言で、〈すばらしい〉の意味に使われるが、この場合は、前々からすばらしい能力の人だとはわかっていたが、やっぱりすばらしい能力だと、再確認した、という意味で誉めている。

- （いつもカラオケが上手な人の歌の後）「うまいね。さすがだね。」
- 「さすが山田さんだけあって、難しい歌が上手だね。」

99. あなたが悪いのだから、あなたが謝る \_\_\_\_\_ と思う。

☐ べき、のが当然だ

◆「べき」は「当然～しなければならない」の意味。

- そんなにすぐにあきらめないで。自分のベストを尽くすべきだと思うわよ。
- 国は安心して老後が暮らせるように、福祉を充実させるべきだ。

100. 1000 円は \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_、10 円玉 \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_ もないのだから、いくら \_\_\_\_\_ C \_\_\_\_\_と言われても返せない。

☐ A おろか、もちろん; B さえ; C 返せ

◆「おろか」 さえも→51 いくら～ても→11

- その町は死んだように静かで、人はおろか、犬一匹さえいなかった。
- コンピュータはおろかワープロさえさわったことがない。

## 付録 A

# 推薦するもの

### 学習リソース

1. Dictionary: Japanese: A Comprehensive Grammar
2. Corpus: Japanese-English Bilingual Corpus of Wikipedia's Kyoto Articles



## 付録 B

## 英訳

1. It only rains when you don't have an umbrella with you, so you can never count on the weather forecast.
2. It's cold again today, though not as cold as yesterday.
3. If I said that I'll do it, I'll see it through to the end.
4. It's locked, so they've probably gone out somewhere.
5. The weather is cloudy and grey, threatening to rain at any moment.
6. I can't figure it out at all. (I have no idea what's what.)
7. I looked out of the window for some reason or another and noticed that the leaves have turned red.
8. We are into late autumn, and the early mornings and evenings are quite chilly. How are you?
9. I read it after a fashion, but I didn't really understand what it was about.
10. Although he really knew, he pretended not to and told me nothing.
11. No matter how rapid the current is, the fish swim upstream.
12. She worked every day, without missing even a single day.
13. After you've arrived there safely, please give me a call right away.
14. Even though they say it's already spring, it's as cold as if winter were still here.
15. I have a slight headache, but since I have an exam today I have no choice but to go to school.
16. If you see Tanaka-san tomorrow, please tell him/her to give me a call.
17. One more failure and we will probably be compelled to call off the study.
18. No matter how much you eat, you don't necessarily gain weight.
19. The higher you climb on a mountain, the thinner the air becomes.
20. If I had to make a choice, I'd say that I like fish better than meat.
21. I looked over all the grammars I could lay my hands on, but no such thing appears anywhere in them.
22. After I conducted one study after another, the experiment finally yielded results.
23. Sunlight, water, and carbon dioxide are necessary for plants to grow.
24. I still can't get out of that childhood habit.
25. If I have to buy [something] regardless, I'd like to buy something that's cheap and good.

26. With this kind of academic record, you couldn't possibly get into a good university.
27. It's only natural for human beings to make mistakes.
28. People say there are too few parks in Japan, but is that really true?
29. This time very few people came, but we hope to have as many as possible next time.
30. Much to our regret, we are obliged to conclude that he is the criminal.
31. It is not until we have time to rest that we can lead our lives as human beings.
32. It's pointless to take the trouble to come to Japan and then not study Japanese.
33. I start to feel like travelling somewhere, though I don't have any particular place in mind.
34. On all the trains on the Tohoku line, skiers are packed in like sardines. (All the trains on the Tohoku line are jam-packed with skiers.)
35. I don't care who laughs at me.
36. Far from feeling relieved, I'm so worried that I can't sleep a wink at night.
37. It's been raining continuously since the day before yesterday.
38. On serene autumn nights, thoughts of my late mother come to mind.
39. The door, which should have been closed, is/was open.
40. It is rare to see such an interesting film.
41. Men are expected not just to be strong; men can't be men without gentleness. (=Real men can't just be strong; real men need to be gentle.)
42. I am told that that animal's body temperature rises along with an increase in the air temperature.
43. In the beginning it was easy, but gradually it has gotten more difficult.
44. There are just four of us here, so let's play mahjong. (=There are four of us here, which is just right for a game of mahjong.)
45. When you go to the post office, please stop by the supermarket and do the shopping.
46. The more you look at this picture, the more you can relish it. (=the more interesting/-pleasing it is to look at).
47. Customers are requested to note that tomorrow is our regular shop-holiday, so we will be closed.
48. I want to contact him straightaway, but unfortunately I don't have his phone number.
49. He always tells funny stories and makes us laugh.
50. A lot of trees burned down in the forest fire.
51. As long as we had water, we could survive for a few days.
52. No matter how hard it is, you must keep on trying right to the end.
53. The accident doesn't seem serious.
54. I'd like to show my appreciation to you with this little gift.
55. Although I thought it was a little expensive, I took the plunge and decided to buy it.
56. His attitude changed as suddenly as if he'd done a complete about-face.
57. People are queueing up and waiting to buy tickets.
58. The talk the teacher gave us yesterday attracted my interest.
59. The book I thought I'd lost turned up under the desk.
60. That's a bargain I found in a shop which I just happened to be passing by.
61. I inadvertently left my bag on the train.
62. The sight of the terrible traffic accident sent a chill down my spine.



- 
63. In Taiwan, people wash their faces with cold water even in the winter.
  64. Their children are already out on their own, so that couple lives quietly and comfortably.
  65. We'd be very pleased to have you with us.
  66. I cut my hand with a knife and it's covered with blood.
  67. Fresh bread is very delicious.
  68. You can't take the day off work just because it's going to rain.
  69. In December, music associated with Christmas (=Christmas music) plays in town.
  70. Although I know I shouldn't drink, I start having a good time and then I drink in spite of myself.
  71. It appears unlikely to rain tomorrow because the sunset is [so] beautiful.
  72. "Where does your back itch? Here?" "Yes, yes, there. Oh, that feels good!"
  73. The relationship between language and culture is too strong to break.
  74. We won't get anywhere asking every person for his/her opinion, so let's take a vote.
  75. "The strong win out in the end, don't they." "Yes, such is life."
  76. Even though I said I didn't want to, I was forced into drinking.
  77. That guy always says things that succeed in annoying me.
  78. If someone says Egypt, we immediately call to mind the pyramids.
  79. It is entirely possible that the Japanese race crossed over from the south in this way.(The theory that the Japanese race crossed over from the south in this way is entirely plausible.)
  80. When I called my friend's house, a total stranger answered the phone.
  81. Although this question was easy, not a single person was able to answer it.
  82. Without having to think, "I wonder what that was," I knew right away that the child's balloon had popped.
  83. It's terribly unfortunate that that person passed away at the age of 35, in the prime of his/her working years.
  84. Suzuki-san took leave of this world before his/her time, at the age of 45, and went to his/her eternal rest.
  85. If I could spare the time and/or the money, I'd like to go on a trip or something, but reality is not that kind.
  86. During my four years at university, I abandoned myself to pachinko and mahjong, and never studied seriously.
  87. That person has already experienced that kind of thing, so he/she won't make the same mistake twice.
  88. I caused my parents a great deal of worry because of this incident.
  89. Knowing him, he has no common sense, so he might do such a thing.
  90. From the lotus blossom emanated a fragrance so pleasant that it was beyond description.
  91. Although I'd been planning on watching the 9 o'clock news, I got absorbed in my book and forgot all about it.
  92. Although he/she had been fooling around every day up till then, all of a sudden he/she started studying seriously, and it was as if he/she had turned into a completely different person.

93. Because my father is an alcoholic, he can't go even a short time without a drink.
94. These days it's rare to see a whole family sit down together for a meal.
95. According to statistics, no more than 8
96. Today is Sunday, but it's raining and I don't have any money, so I have no alternative but to stay at home and sleep.
97. He couldn't possibly be a foreigner.
98. As might be expected of a student in the vocal music program, his/her speaking voice is pleasant too.
99. Because it's your fault, I think that you should apologize.
100. I don't even have a 10-yen coin, let alone a thousand-yen bill, so I can't possibly pay the money back.

## 裏表紙について



写真の日時計にはラテン語で “Carpe Diem” (カルペ・ディウム) と彫ってあります。英語では “Seize the day”、日本語では「その日を摘め」と訳されています。そこには「その日を楽しみ、精一杯いきること」という意味があります。紀元前 1 世紀の古代ローマの詩人ホラティウスの詩に登場する句で、映画 “Dead Poets Society” (1989 年、邦題「いまを生きる」ロビン・ウィリアムズ主演) にも出てきます。



クイントゥス・ホラティウス・フラックス  
Quintus Horatius Flaccus  
BC.65.12.8–BC.8.11.27  
古代ローマ時代の南イタリアの詩人

Ten Sentences A Day for Eight Weeks  
Dictation Everyday  
Volume 3

2020 年 7 月 27 日 第 1 版

著者: 山元啓史

©2018, Hilofumi Yamamoto



CARPE DIEM

